

令和4年 8月8日

東員町議会 議長 三宅 耕三 様

東員町議会 全員協議会

委員 山崎 まゆみ

## 全員協議会 研修報告書

研修期間	<u>令和4年 8月 1日 (月)</u>
研修(視察)先	東員町議場
目的(テーマ等)	地域経営を担う「住民自治の根幹」としての議会の作動について
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページ

[議員氏名：山崎まゆみ ]

## 研修概要、内容、所感

### 《研修概要～演題・講師》

『地域経営を担う「住民自治の根幹」としての議会の作動』

講師；江藤 俊昭さん

大正大学社会共生学部公共政策学科 教授

### 《研修内容》

(※講義レジュメの引用を避け、わかりにくいところを自分なりに、過去の江藤先生の著書や講義録を調べて整理した内容です)

#### I、非常事態（コロナ禍など）での議会活動

##### (1) 非常事態に生まれた副産物

- ・非常事態には日頃の「議会改革」があぶりだされた。
- ・議会改革での良い意味での副産物を生み出した。(＝議会改革の成果)
- ・非常事態でも連続的に活動する議会から、政策サイクルを作動させていた先進的な議会もあった。

##### 【副産物】

- ①議会 BCP（業務継続計画）の作成・改正
- ②オンラインを活用した議会運営

☆議会として情報・要望を集約し、行政に伝えることで、行政活動を豊富化させられる。

それができなければ、貧弱な政策と首長主導の政治を生み出す。

##### (2) 「議会からの政策サイクル」の発見と実践

～地域経営の軸である「総合計画」と財政（総合計画の具体化）に関わるようになっている議会～

##### (3) 非常事態、危機状況

●感染症拡大 ●震災 ●台風・集中豪雨

- ・非常事態はまさに日常化してきていて、コロナ禍が終息しても従来の生活に戻ることは、ない。
- ・多様な課題が浮き彫りになっている。

東京一極集中の問題・地産地消の重要性・行革による公務員削減・人口減少・少子高齢化の急速な進展等危機の時代に新型コロナが襲った。

◎非常事態の強調だけでは、専決処分を連発させる首長主導型地域経営に転嫁させてしまう。

◎専決処分は、議会の討議空間の場を奪う。

#### II、議会改革について

○議会基本条例

◎議員間討議を重視



町民の意見に連動した内容で！町民の福祉向上につなげる内容で！

◎住民参加の種類

- 議会報告会・意見交換会
- 参考人・公聴会
- 専門的知見の活用
- 市民フリースピーチ（動画視聴－犬山市議会等）

◎議会図書館について

議会に設置むずかしければ、町立図書館の中で町政のコーナー設置すればよい。

◎議員報酬、政務活動費、なり手不足のこと

《解消法》

- (1) 多様性の充実＝女性、若者を増やす
- (2) ハラスメント防止  
「ハラスメント防止条例」と「政治倫理条例」

- (3) 「政策サポーター」や「議会だよりモニター」制度は有効

《研修所感》

マスコミで見る世論、全国的に議員のなり手不足による選挙なく無投票で議員が決まるところが多いという現状は、「議員は何をしているかわからない」「議員はいてもいなくても同じ」と言う風に議員に対して信頼が低下しているなかで、地方議会は議会改革を進めています。個々の議員はどうかと言うと、議会改革が前面に出ている、議員が町民の意見を十分聞いて、それを議員の発言で伝えること、一層努力しないとイケないと思っています。

本日の講義で特にコロナ禍など非常事態においては、町民個々のお困りの声を真摯に受け止めて、町民のために監視・政策提言するという意識を強化しないとイケないという思いを強くしました。さらにその町民のお困りを政治・行政の場に登場させるために、議会からの政策サイクルを活用して、住民自治を進めるというお話でした。その中で、平常時に策定した「総合計画」を軸として、非常態で行う政策実施事業との連動性と今後の連続性を意識することが重要であるということも、良く理解できました。本日の講演で「住民自治の根幹である地方議会の役割」を学習する機会を与えていただき、とても有益でした。

住民代表の議員として町民の皆さんの暮らしの現実と課題を把握し、住民と十分なコミュニケーションを取りながら町民の意思を議会の場で見える形で具体化していかなければならないと自分に課す、そんな勉強会でした。

執行部からの議案説明の時に個々の議員が執行部に質問して、執行部の説明を聞くにとどまっているのが、我が議会の現状であり、不足していることが、議員間討議であると思います。議案について事前に調査研究して、執行部退席後の議員間討議が熟議できるように、頑張っていきたいと思います。

今回の講演の企画、準備していただいた事務局はじめ、議長、そして江藤先生には遠方からお越しくださり、熱心に講義してくださりありがとうございました。最後に、今

後、当議会で改善していただきたいという要望と疑問を以下述べます。今回の講演会のテーマ（演題）は講演会の前日の 17 時の段階でも議員に情報をお伝えいただけませんでした。全員協議会の講演会の事前に、せめて講演テーマは議員に周知していただきませんでした。テーマがわからないなりに、自分は江藤先生の講演録などあれこれとネット検索したり江藤先生の著書など検索して今回講演会に臨みました。さらに疑問としては、議員に講演テーマが前日に周知されていなかったに関わらず、当日は一般町民の熱心な方がお二人傍聴に来られていました。どのようなツールで町民に周知されたのでしょうか。江藤先生が述べられた通りで、一般町民の方なるべく大勢の町民の方にも聴いていただきたい講演であれば、是非とも事前にきちんと町民に周知すべきであると思います。